

知の広場（国際化対応）第4回 報告書作成およびプレゼンテーション

大学院 技術経営研究科 副研究科長 福代和宏

知の広場（国際化対応） スケジュール

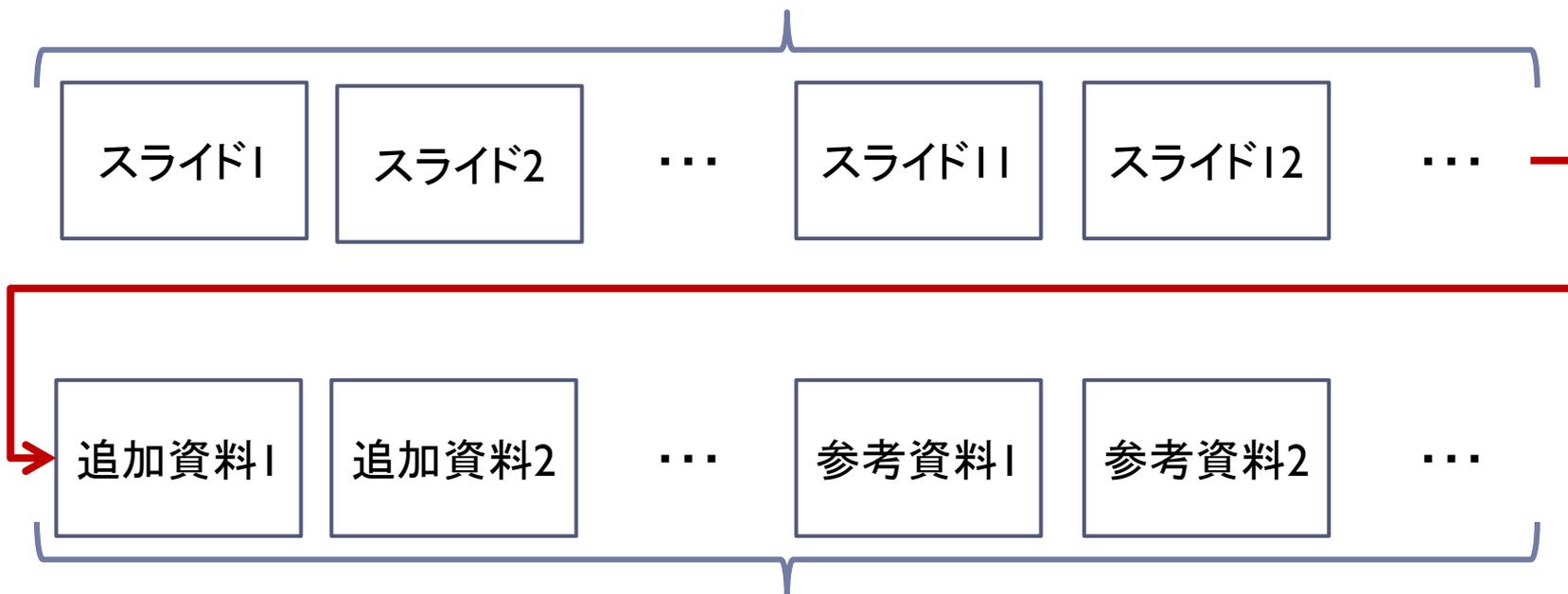
日程(仮)	回数	項目
10月2日(水)7・8時限	第1回	オリエンテーション／海外で学ぶ・働く
10月9日(水)7・8時限	第2回	国際化アクティブラーニングの進め方
10月16日(水)7・8時限	第3回	調査方法
10月23日(水)7・8時限	第4回	報告書作成およびプレゼンテーション
10月30日(水)7・8時限	第5回	海外勤務経験者による講演1
11月6日(水)7・8時限	第6回	海外勤務経験者による講演2
11月13日(水)7・8時限	第7回	助言
11月20日(水)7・8時限	第8回	発表会



報告書の作成について

- ▶ プレゼンテーションで使用するパワーポイント資料をそのまま報告書として提出していただきます
- ▶ プレゼンテーションで使用するスライドを前方に、参考資料やその他の資料を後方にまとめます

プレゼンテーションで使用する



▶ プレゼンテーションでは使用しない

パワーポイントの使い方

- ▶ PowerPoint 2010, PowerPoint 2007とPowerPoint 2013では使い方がだいぶ異なりますので, 注意してください
- ▶ PowerPoint 2010, PowerPoint 2007の使い方
 - ▶ 「パワーポイント 2010 はじめの一步」
 - ▶ <http://office.microsoft.com/ja-jp/novice/FX101820759.aspx>
- ▶ PowerPoint 2013の使い方
 - ▶ 「PowerPoint 2013 の新機能」
 - ▶ <http://office.microsoft.com/ja-jp/powerpoint-help/HA102809628.aspx>



プレゼンテーションのやり方

- ▶ 10分のプレゼンテーション
 - ▶ 社会では短く要点を押さえて説明することが求められます
 - ▶ 社会に出るための練習だと考えて下さい
 - ▶ スライド1枚あたり30秒から1分程度で説明するのが普通
- ▶ 追加資料や参考資料はたくさんあっても構いません
- ▶ 時間が限られているので、代表者1人で発表するか、交代しながら発表するか、よく検討すること
- ▶ リハーサルを行っておくこと



発表用スライドの構成

- ▶ 表紙(1枚)
- ▶ 調査を行った目的, 背景(1~2枚)
- ▶ 本題(例, 8~9枚)
 - ▶ 対象国(地域)の社会・経済の状況
 - ▶ 対象国で活躍する人物
 - ▶ その人物が直面した問題など様々なエピソード
 - ▶ 今回の調査から学んだこと, 気づいたこと
 - ▶ 今後の留学などに生かせること
- ▶ まとめ(1枚)
 - ▶ 何について調査をしたか
 - ▶ 何がわかったか



追加資料や参考資料のスライドについて

- ▶ 適宜，追加資料や参考資料のスライドを発表用スライドの後ろに追加してください
- ▶ 追加資料
 - ▶ 発表の際には時間の都合上カットしたが，もっと説明したかったこと
 - ▶ 今回の調査の感想，苦労したことなど
- ▶ 参考資料
 - ▶ 今回の調査で使用した資料の出典
 - ▶ 例：
 - ▶ ASEAN-Japan Center 『ASEAN 情報マップ』 (2013年)
 - ▶ 小倉貞男『物語 ヴェトナムの歴史』 (1997年，中公新書)，pp.11-12



宿題

- ▶ 今日からプレゼンテーション資料の準備を開始すること
- ▶ 必要に応じて調査を継続する。
- ▶ 必要に応じてスケジュールや分担を変更する

